

ご存じですか！文化財

「万葉遺跡(古河の渡し)」

市指定旧跡
昭和36年9月1日指定

16



問合せ
北川辺教育事務所
(☎0280・62・1710)



所在地 向古河486-1

新古河駅から歩いて数分、三国橋に近い向古河鷺神社境内の一隅に、「万葉碑」が建っています。昭和35年4月に建てられた石碑にはまくらがの古河の渡りのから梶の音高しもな寝なへ子ゆゑに

(大意:まくらがの古河の渡りの韓楫の音が高いように、高く噂が立ったなあ。あの子と共寝をしたわけではないのに)

という万葉集巻14に収載されている和歌が万葉仮名で彫られています。万葉集の編纂は8世紀末、その時代前後のこの地は、大小河川の乱流する水郷地帯であったのでしよう。

万葉集巻14には「まくらがの古

「河」の歌が、他に二首載っています。

白たへの衣の袖をまくらがよ
海人こぎく見ゆ波立つなゆめ

会はずして行かば惜しけむまくらがの
古河こぐ船に君も会はぬかも

いずれも個人の作ではなく、長い年代、多くの人々に語り継がれてきたものの結晶といわれています。

間もなく渡良瀬川の堤防上には菜の花が咲き誇る季節を迎えます。春爛漫の堤防上を散策しながら、広大な渡良瀬遊水地を見晴らすと、遙か千数百年前の原風景を偲ぶことができるかも知れません。

どうぞ一度お訪ねください。



向古河鷺神社と境内にある「万葉遺跡」

紹介者 山崎 繁雄さん(駒場)